

第6回 これからの学校づくり検討委員会 議事録概要

日時	令和4年6月30日(木) 18:30~20:00
場所	海陽小学校 1階多目的室
出席	別紙出席者名簿のとおり 市教委：教育長、教育部長、教育部次長、指導参事、椎名指導主事、棟方指導主事、山口学校教育課長、松尾学務係長、山本教職員係長、船橋教育総務課長補佐、土橋教育総務係長、林教育総務課主任、菊地教育総務課主事、松浦教育総務課主事
内容	<p>配布資料：委員会次第 それぞれの考え方の比較（メリット・デメリットなど） 室蘭市のこれからの学校教育に求められるもの（パワポ資料） これからの学校づくり第5回検討委員会 話し合い（ワークショップ）まとめ【事前配布】</p> <p>次第</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第5回検討委員会の振り返り ○ 室蘭市のこれからの学校教育に求められるもの ○ 意見交換 ○ 教育長挨拶 <p>○ 第5回検討委員会の振り返り</p> <p>＜市教委よりスクリーンへ資料を投影し説明＞</p> <p>○ 室蘭市のこれからの学校教育に求められるもの</p> <p>＜市教委よりスクリーンへ資料を投影し説明＞</p> <p>○ 意見交換</p> <p>○ 「室蘭市教育施策の大綱」を中学校区ごとに進めていくということによいか。</p> <p>市教委：これからの学校教育に求められるものを皆さんで考えていただいて、児童生徒数が減っていく中で他学年の交流・連携が必要になっていくのですが、これを実現するためにはコミュニティースクールを土台として、大綱に掲げている教育目標を目指して、小中連携を進めていきたいと考えます。</p> <p>○ 他県では10年以上前からやっており、ちょうど10年前に自分も視察し「室蘭市にこういうのがあると良いよね」と思っていたが、10年越しに出てきたのですごく嬉しく思っているが、課題にスポットを当ててしまうと数値での検証が必要になると、各中学校区の求めるものが校長により大きく単年度で左右してしまうのは良くないと思っています。室蘭市の教育方針は4つの大きな柱があり、1つは生涯学習に関わってくることであるが、残りの3つは学校教育に関わってくることなので、大きな枠組みを各中学校区ではめ込みをして、コミュニティースクールを使いながら運用するというのを、スパンを決めた上で検証して課題をクリアしていくという枠組みを市教委の方で統一したものを示していただけると、より現実的に進めていけるのかなと思います。どんな形がより現実的にいけるのかというのを、「この地域は義務教育学校だよね」や「この地域は既存の形だよね」というように、大きな絵面、青写真をいただけるとわかりやすいと思います。</p>

市教委：おっしゃるとおり、地区ごとに課題は異なり、校長先生が替わる度に方向性が変わるのとは良くないと考えます。コミュニティスクールを土台としながら9年間をとおした、15歳の「めざす子ども像」の共通認識をもてるように、各地区小中一体で教育が進められるべきだと思います。

市教委：課題1～4は、室蘭の学校適正配置計画後に残された課題であり、このことを解決できる室蘭の学校教育のあり方を市全体で統一したいと考えております。どの学校であっても統一して行うイメージです。パワーポイントでもあるように、1～4の課題を解決するために、全部の小中学校で「ふるさと室蘭に、愛着と誇りを持つ教育」と、「共に生きる教育」は必ずやってもらう、という書き方です。その上にコミュニティスクールがあり、小中一体となった9年間の教育を進めていきます。ここに全ての校長がベクトルを揃えていただくという作業をやってもらいます。結果として「ここに進めていけたらいいよね」や、どのように実現度をはかるかは、これから検討しないといけないが、そういった組み方で、室蘭のこれからの教育を考えたいと提案させていただきました。室蘭で統一する教育を、どんな学校の形であればより進めやすいか効果的にやれるかを、委員の皆様にご検討をいただけたらと思います。

○これまでの話し合いの中から今回のようなまとまった形で出てきているが、それが相当きちっとしたまとまり方なので、中には戸惑ってしまうような委員の方もいると思います。実はここからが大事で、先程の説明であったコミュニティスクールを今年度中に確立した中で、地域の実情を生かされた形での学校をどんなものにしていくかは、これからの問題だと思います。コミュニティスクールをどの程度までに各地域で、実情に合わせた形でつくっていくのが、第一歩だと思います。「愛着と誇りを持つ教育」と「共に生きる教育」は、これまで皆さんが各テーブルごとにまとめて出てきたものですので、まとめてくれた教育委員会の皆様には感謝したいと思います。各地区での候補も出てきており、その地域では実際にどうやっていくのか、コミュニティスクールに話を持っていくのか、コミュニティスクールの委員となって活動される方もいると思いますので、生かしていけたらと思います。

小中一貫は昔からやっていますし、田舎のように小さなところや大きな学校でも一貫教育を目指してやっています。室蘭の場合はどちらかという人口減少の方向からやっておりますが、全国的にみると必ずしもそうではなく、一貫教育の質を高める意味も含まれております。ただ単に、人口減少を理由にするのではなく、あくまでも一貫した教育を行うのが、子ども・親・学校・地域のためであるという気持ちで、何か考えがあれば言っていただきたいと思います。

○それぞれの考え方の比較表が、メリット・デメリットが書かれていて、とてもわかりやすく良い資料であるという感想を持ちましたが、室蘭市全体が義務教育学校になる話でしょうか。個人的にはハイブリット型が良いかと考えております。また、推計グラフをみると、20年後弱には複式学級になり、このようなことが言えるのだろうかとも考えており、建築の耐用年数も考えると小中学校で築年数の基準がばらばらであるのに、小中一緒にした場合に建物の築年数はどうするのかなとも思っております。現状維持の考え方のところは義務教育学校となっていく、最後は適正配置的な発想も入れないとどうにもならないのでは、と考えています。

市教委：まず、全体で進めていきたいのは、義務教育学校で固めているわけではなく、小中一貫教育はどの地域でもやっていきたいということでございます。その地域によってハイブリットであったり義務教育であったりというのが、柔軟に対応した方が良いのか、施設が分かかっていても義務教育学校をすべきか、議論を深めていきたいと思います。

○逆に、現状維持する学校・地区もあると思います。その辺の考え方については変わってくると思いますが、その話については次の検討委員会で出していただければと思います。恐らく蘭西地区はそ

のようになっていくと思いますが、東明地区は人が増えていますので、地区により考え方がまるっきり違うと思うのです。東明地区を小中一貫にするというのであれば話はまた変わってきますが、現実的にそれは無理な話ではないかと思えます。また、現状を小学校区で考えていくと、中学校の先生はこれで事業を進められるのか疑問です。地域・学校・学識経験者が集まるわけですから。〇〇委員が話しておりましたが、コミュニティスクールが後ではまずいのではないのでしょうか。地域と学校がまるっきり縁を切っておりますから、そのためには、まずはコミュニティスクールをやっていないと前に進まないと思えます。校長先生が「さあやるぞ」と言っても、町会が「うん」と言わないと動かないわけですから。この事業も大事ですが、コミュニティスクールもどんどん進んでやっていき、学校と密着しないと進んでいかなければいけないのかなと思えます。その辺について次回の検討委員会で示していただけたいと思えます。

市教委：ありがとうございます。まさに今回話していただいている土台にコミュニティスクールがあります。コミュニティスクールを今年度中に全中学校で立ち上げさせていただき、それをより効果的なものにするために、どのようにすればコミュニティスクールが有効に機能するのか、〇〇委員のおっしゃるとおりまさに進めていかないといけない課題だと思っております。次回までにお示しできるかはまだ分かりませんが、次回の議論を深める資料として検討させていただきたいと思えます。

OPTAの立場から一言申しますと、校長先生次第で学校の雰囲気ガラッと変わると思えます。「これは難しい」と言う先生もいれば、アドバイスをくれる先生も中にはいます。どんなに父兄の方が沢山いても、どんなにやる気がある父兄がいても、「子ども達のため」という1つの目的しかないPTAに対して、会長の長期化・固定化すると事業が衰退していきます。そこで学校と縁が途切れて、学校とPTA会長だけで物事が決まっていき、「ことなかれ」で終わる傾向が強いです。教育長からお話がありましたように、市として方針を決めて、どの学校・校長・スケール・地域も同じベクトルで進んでいけるというのであれば、この提案はすごく効果があるのかなと思えます。

市教委：校長先生が替わると学校運営も変わるのは当然ですが、PTAとの関係性が弱まっていくのはまずいため、そのためにはコミュニティスクールが良いのかなと考えております。

〇次回までに、登別市の明日中高へ室蘭市の子どもがどれくらい行っているかについて示してほしいです。小中と同時に、今は東京などでは中高一貫が一般であるが、自分は沖縄出身で、公立の中高一貫もあるが、優秀な人材が引っ張られる傾向があります。明日中高がそれをやると室蘭から人が流出してしまうのではないかと思います。小中のくくりと、中高のくくりでバッティングしないかということについて、何か情報があれば知りたいと思いました。

市教委：〇〇委員のおっしゃるとおり、室蘭から明日中高に行く子どもが多いです。明日中高の定員はそこまで多くないので限定的ですが、それなりの人数が室蘭から登別へ流出している実態もありますので、資料を次回までにお示しできるようにしたいと思います。

<検討委員会終了>